

BRIDGE

Issue 036
The Intersection of Nihonbashi Hamacho

Section 01



KEYUCA

Section 01
暮らしに長く寄り添う。
「KEYUCA」の、想いを込めたものづくり

Section 02
気になるここへ行ってみたい
「STRIDE ReMOV」

Section 03
浜町エリマネレポート
Vol.27

Section 04
暮らしとドボク Vol.18

Section 05
新着情報

Photo_Shiori Kikura / Text_Misao Hamaoka

About BRIDGE

隅田川沿い、日本橋エリアの一角に位置する、日本橋浜町。
下町風情が微かに残る趣深い街並みに、最近では暮らしを彩る新たなカルチャースポットが続々と生まれています。

「BRIDGE」は、そんな浜町の魅力や変化を、まちの中の人に、まちの外の人に、発信していく地域密着メディアです。

住民と住民を。ワーカーとワーカーを。伝統と新風を。この小冊子が繋ぎ合わせる“橋”となり、浜町にさらなるシーンとワクワクを誘います。



KEYUCA

Supervised by 一般社団法人日本橋浜町エリアマネジメント Supported by
Edited by good mornings Co.,Ltd
Design by Nozomi Yamaguchi
Date of Issue 2026_5_29

安田不動産 総務
建設技術研究所

暮らしに長く寄り添う。「KEYUCA」の、想いを込めたものづくり

「暮らすまち」としての安らぎと、「働くまち」としてのクリエイティビティが交差する日本橋浜町。1974年創業の河淳株式会社は、流通や商・住空間、医療など多岐にわたる分野で業界をけん引してきた、日本橋浜町に本社を構える企業です。その技術と視点を私たちの暮らしに寄り添うプロダクトとして展開するのが、ライフスタイルショップ「KEYUCA」。このまちの魅力と重なり合うようなKEYUCAの世界観、そして、このまちから描くブランドの未来を探ります。

KEYUCAの沿革

1974年 河淳株式会社創業

2000年 KEYUCA 1号店 OPEIN

2002年 焼き菓子・生菓子の製造をスタート

2009年 スイーツ専門店を出店

2020年 KEYUCA 20周年で アパレルラインをスタート

2025年 KEYUCA 25周年を機に ライフソリューションブランドへ

横浜市本牧に1号店がオープン（現在は閉店）。雑貨や家具などの「インテリアショップ」としてスタートしました

イタリア語で「しあわせなお菓子」という意味のスイーツ専門店「KEYUCA SWEETS(ケユカスイーツ)」として当時を出店
※現在は「DOLCEFFELICE(ドルチェフェリーチェ)」と店舗名が変更

暮らしの課題解決をテーマに、機能性とデザイン性を兼ね備えたオリジナルデザインの衣服をつくり続けています

ライフスタイルブランドからの進化。使い捨てられる「生活消費財」ではなく、使い続けることで、生活の質を向上させる「生活投資財」をつくり、届けたいです

これまでも、これからも。KEYUCAが目指す、ものづくり。

河淳株式会社
KEYUCA事業部
事業部長 渡邊 陽平さん

2001年入社。リテールソリューション事業部や店舗運営を経て、2000年にKEYUCAが誕生し、2020年に現職に就任。自宅にも自社アイテムが溢れる中、いまでも愛着を寄せるのが「極ラクモールドウレタン」使用のソファ。優れた耐圧分散、型崩れしにくい圧倒的な復元力と耐久性を備え、高級マットレスに包まれているような座り心地の良さなのだとか。「上京して初めて暮らしたのが浜町。都会的な部分と、ホッとできる情緒的な部分が共存するこのまちが大好きです！」

プロの技術を身近に。河淳から継承したKEYUCAの原点

「河淳は、店舗什器や建築金物を開発・販売する“ものづくりメーカー”。専門的な製品と関わりと皆さんの暮らしとはかけ離れた存在のように感じられるかもしれませんが、マンションのドアノブからスーパーの陳列棚、誰もが知るあのハンバーガーショップのトロッポボックスまで、日常のさまざまなシーンで河淳の製品が活躍しているんですよ。そして、河淳がプロの現場で培ってきた「良いものを、適正な価格で届ける」というものづくりのDNA。そのノウハウを個人の暮らしにも提案したいという想いから誕生したのが、インテリアブランド「KEYUCA」です。実は、現在ショールームになっている日本橋浜町の本社下にブランドの3号店がありました。家具やカーテン、生活雑貨をそろえたインテリアショップとして、まちの皆さんに支えられてきた歴史があるんです。」

日常の“不便”を解消し、暮らしの質を高めるブランドへ

「ブランド設立20周年の2020年には、アパレルラインを本格始動するとともに『ちょうど良い。をつくる』というコンセプトを掲げ、リブランディングを行いました。目指したのは、日常の小さなストレスを取り除くような暮らしに寄り添うものづくりです。その象徴ともいえるアイテムが、累計100万台を突破したロングセラー『両開きダストボックス』。省スペースや耐久性といった機能に加え、開閉音にまで着目し、静音ダンパーを採用しました。ごみ箱としての機能だけを見れば、必ずしも解消する必要はない音かもしれませんが、けれど、そのわずかな生活音が知らず知らずのうちにストレスになっているのではないかと考えたんです。開発にあたっては、チームのみんなで6万回もの開閉実験を実施。気が遠くなるような地道な作業でしたが、機械の数値だけでは測れないクオリティに一切の妥協をしなくなりました。こうした細部へのこだわりをさらに突き詰めるべく、2025年には「ライフソリューションブランド」としての新たな一歩を踏み出しました。使い捨ての“生活消費財”ではなく、使い続けることで生活の質（QOL）が高まる“生活投資財”となるものづくりへの挑戦です。私たちが届けたいのは、“おしゃれ”や“シンプル”といった表層を超え、「KEYUCAだったら間違いない」と直感的に信じられる価値。それがブランドのアイデンティティであり、背負うべき責任だと思っています。」

日本橋浜町から描く未来。お客さまと共に歩む新章がスタート！

「お客さまの役に立ちたいという想いは、河淳の創業時から変わりません。単に作って売ってではなく、使っていく中での“満足”をつくり上げることこそが、私たちの目指す地点です。これまでも店舗での声を商品開発に生かしてきましたが、今後はさらに踏み込み、お客さまとの直接的なコミュニケーションを深めていきたいと考えています。その起点となるのが、今年始動したばかりの「KEYUCA LAB (ケユカラボ)」。

企画段階からお客さまに参画していただくことで生声をダイレクトに反映し、本当に欲しいと思っただけの製品を共に育てていくプロジェクトです。大好きな浜町の地から、皆さんの日常に寄り添い続けること。KEYUCAというブランドが、社会にとって不可欠な存在であり続けること。ものづくりと企業活動を通じて、これからも新たな価値を届けていきます！」

河淳・KEYUCA スポットガイド in 日本橋浜町

KAWAJUN Global Hardware ショールーム

KAWAJUN Public Furniture ショールーム

KEYUCA 箱崎エアターミナル店

清洲橋通りに構えるガラス張りのショールームでは、ドアノブからトイレトペーパーホルダーまで、多種多様な住宅設備をご覧いただけます。品質の高さと豊富なラインナップを、ぜひご体感ください。企業のお客様はもちろん、リフォームをご検討中の個人のお客様にもご利用いただけます。※完全予約制

東京シティエアターミナル1Fを通ると、思わず見落れてしまうインテリアのショールーム。約1000㎡の広大なスペースに、オリジナリティ溢れるデザイン性の高いチェア・ソファ・テーブル・ベンチなど多数のアイテムを展示し、使い心地、座り心地、機能、品質を体感できるようにしています。※完全予約制(法人限定)

【店舗情報】
中央区日本橋箱崎町42-1
東京シティ・エアターミナル 1F
☎03-5643-7831
営/月～金 11:30～19:30
土/日祝 11:00～19:00
休/年末年始

【住所】
中央区日本橋浜町3-15-1
日本橋安田スカイゲート1F

【住所】
中央区日本橋箱崎町42-1
東京シティ・エアターミナル1F

働く人に聞く、KEYUCAのイチオシ商品！

KEYUCA 箱崎エアターミナル店
店長 加山 悠さん

「私も愛用しているイチオシがこの二つ。ステンレスポトルは食洗器対応な上、パッキンがふたと一体化しているので洗うのがとにかくラクなんです！ 洗いほとの手軽さと、高い密閉性・保温性。使い手の“あつたらいいな”を詰め込んだクオリティで、海外の方にも人気のアイテムです。独自の設計が光るインナーも、KEYUCAの自信作。ブラはノンワイヤーなのにシルエットが驚くほどきれいに整いますし、ショーツは締め付け感がないにおなか周りを程よく押さえてくれます。こうした日常がちよつと上向く仕掛けは、企画段階から細部まで徹底的に練り上げる“使う人への想い”があるからこそ。手に取るたびにうれしくなる心地よさを感じていただきたいです。」

食洗 素に洗える
ステンレスポトル 350ml ¥2,189
H スタイルケアブラ ¥2,530
H スタイルケアショーツ ¥1,430

商品企画開発部 服飾雑貨チーム
MD担当 河崎 優香子さん

「アパレルラインからは、5月2日にデビューしたばかりのアクティブウェアをご紹介します。300名の女性へのアンケートから見てきた、運動へのハードルや体形の悩み。そんなリアルな本音に向き合った、一般的なスポーツウェアとは一線を画す“課題解決型”の一着です。こだわったのは、日常をアクティブに変える“3つのレス”。そのまま出掛けできる“着替えレス”、体のラインを拾わず体形を美しく見せる“不安レス”、ポケット付きで手ぶらOKな“荷物レス”を叶えました。“日常生活そのものをアクティブにするウェア”。日常の延長で自然に運動を取り入れるために、実用性、機能、デザイン性にこだわり、本格的な運動に一步踏み出すきっかけとなるウェアです。」

KEYUCA アクティブウェア
H スタイルカバーロングTシャツ ¥3,740
H スタイルカバージョガーパンツ ¥4,290

商品企画開発部 生活雑貨チーム
リーダー 石井 綾香さん

「KEYUCAのテーブルウェアは生活に馴染むデザインが多く、使ってこそ分かるモノの良さがあると思います。その中でも自信を持ってご紹介したいのが、「暮らしに寄り添う」をコンセプトにした『sou』シリーズ。一番の特長は、職人の手仕事を思わせるような温かみのあるクラフト感。整い過ぎないフチの形状に加え、釉薬の重なり具合によって一つひとつ風合いが異なるため、見るたび、盛り付けるたびに違う表情を見せてくれます。すっきりと重なるスタッキングのよさ、豊富なサイズ展開でどんな料理も受け止める盛り付けやすさなど、使い勝手を考え抜いた実用性も◎。気負わず使えるのに、毎日の食卓が映える。迷わず手に取れる安心感もこのシリーズの魅力です。」

【美濃焼】sou シリーズ
マグカップ ¥1,089
サイドボウル(14cm) ¥1,089
メインフラットプレート(27cm) ¥2,519

日本橋浜町での取り組み

ハマシアター

カゴメ×KEYUCA×Hama House トマトの収穫祭「ケチャップで賑やかにチャレンジ！」

カゴメ株式会社と共同で、Hama Houseを会場に開催したトマトの収穫と実食を楽しむイベント。当日は6種類のトマトの食べ比べや解説の後、ケチャップでオムライスに“賑取”を描くワークショップを行いました。また、KEYUCAからは保存容器「方ロックエア」を参加者へプレゼントし、使い心地を体験していただきました。近隣企業と連携し、地域住民の方々にも食のつくりの魅力を伝える機会となりました。

日本橋浜町エリアマネジメント主催のもと開催された映画鑑賞会「ハマシアター」。現在のKAWAJUN Global Hardware ショールームを会場に、2019年と2021年に入場無料で開催しました。赤やん連れでも安心して楽しめるよう、やわらかいマットやおむつ替えスペースをご用意。「映画館だと子どもが泣いてしまわないか心配」という方でも気兼ねなく、お子様とゆったり映画を楽しむ時間となりました。

繋がる、いい街、いい仲間

2026年4月、富沢町のウォーキング・ランニング専門店「STRIDE LAB東京本店」の地下にオープンした運動施設「STRIDE ReMOV」。



東京ヴェルディ3x3 チームゼネラルマネージャー 福田 莉沙さん
東京ヴェルディ3x3 チーム TOKYO VERDY.EXE 小口 陸選手
STRIDE ReMOV 代表取締役 今井 亮瑠さん
STRIDE ReMOV 取締役 阿部 勝彦さん

TRY! 小口選手が足の強さ測定を体験!



「STRIDE ReMOV」では専用のマシンを使い、6つの種目を通して足指、ひらめ筋、バランスなどの足の筋力を測定。

測定お疲れ様でした!小口選手の足はどうでしたか?

阿部 ジャンプ力が素晴らしいスコアでした。ただ左足の親指以外の指の力が弱く、上手使いできていないかもしれません。

福田 小口選手は身長が172cmとリーグでも小さい方ですが、得点力が武器。シュートの打点も高く、ブロックされにくいんです。

小口 やっぱり左足だったんですね。自分でも左足でジャンプすると怪我をすることが多いなと思っていたので、改善していきたいです。



「STRIDE ReMOV」はどんな想いで生まれたんでしょうか?

今井 弊社の母体はウォーキング・ランニングシューズを売っている会社ですが、靴だけでなく、足自体の機能を整えることを提唱するために立ち上げました。

阿部 足って衝撃を受け止めるクッション性と、ふんばる硬さの両方が必要なんです。そこで重要なのが、足指をしっかり使えるようにすること。



今井 外反母趾などの足の悩みも、足の機能を整えることで悩みの改善につながる可能性があります。そうした悩みを抱える一般の方にも、ぜひ利用していただきたいですね。



阿部 個人的には高齢者の方に来ていただきたいと思っています。歩行機能が落ちてしまうと、寿命はやっぱり短くなってしまいます。

福田 東京ヴェルディクラブは地域貢献活動にも力を入れていて、東京全域でマルチスポーツ体験会を開催したり、小中学生の指導をしています。

今井 動けるって人生を豊かにすることだと思うんです。お店でもランニングやウォーキングのイベントを開催していますが、動くことを通じて地域コミュニティが作っていかれたらと思っています。



(一社)日本橋浜町エリアマネジメントの活動記録

日本橋浜町界隈をより魅力的なまちにしようと2020年4月に発足。地域の方と連携し、まちの交流促進・プロモーション・環境整備の活動を行なっています。

3月29日(日) 裏日本橋桜まつり



毎年多くのお花見客でにぎわう浜町公園。道中の緑道では、地元商店会の屋台が並び、屋台料理やお酒を楽しめるイベントが開催されました。

4月12日(日)・13日(月) 浜町マルシェ



地元商店会の屋台をはじめ、こだわりの逸品が並び浜町マルシェ。今回は同日に、日本橋浜町と同じくナウマンソウ化石の発掘地である北海道幕別町から、中学生が修学旅行で来訪しました。

4月17日(金)・18(土) 第3回 HAMACHO Sports Festival

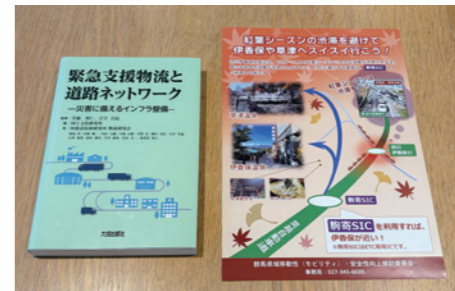


あやめ公園を会場に、今年で3回目となるスポーツイベントを開催しました。3x3バスケットボールの特設コートも設け、リーグ戦や東京ヴェルディ選手によるエキシビションのほか、子ども向けのバスケ体験、浜町公園までの往復距離を走る駅伝大会など、2日間にわたり多彩なコンテンツを実施。

まちの巡りを診断し、最適な道筋を。地図に命を吹き込み、暮らしの動脈を描くエキスパート

1本の道ができるだけで、まちの風景も、人の流れも、暮らしも変わっていく。そんな「交通」という社会の動脈を、設計と計画の両輪で支えるのが(株)建設技術研究所・交通システム部の内田大輔さんです。

- POINT 01 交通・物流の計画と設計で、まちの骨格をつくる
POINT 02 分析と現地調査を掛け合わせ、最適な交通の流れを導く
POINT 03 渋滞緩和や啓発活動を通じて、持続可能な交通を目指す



内田さんが執筆した本、災害時のライフラインについても触れられており、専門書でありながら一般の方にも読みやすい、ためになる一冊。
右は(株)建設技術研究所公式キャラクターのCTIちゃん。

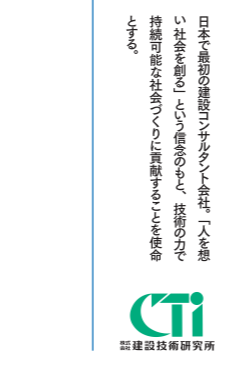
お話を伺ったのはこの人



東京本社 交通システム部 技師長 内田大輔さん
兵庫県出身。1996年入社。趣味は渋滞巡り(1)。家族との旅行でもあえて渋滞に身を投じ、渋滞のマカニズムを読み解く瞬間が楽しいのだとか。仕事の原点は、新時代に設計した「国道293号鹿沼南バイパス」。「十数年越しに自分の引いた線が地図に現れた時の感動は、今も私を動かす一番の原動力です!」

「暮らしとドボク」とは?

浜町3丁目にオフィスを構える(株)建設技術研究所の社員、通称げんぎさんをお迎えし、浜町での暮らしに役立つであろう暮らしとドボクにまつわる知識を、建設コンサルタントのマニアックな視点を通してお届けする連載です。毎号、異なるゲストをお迎えしてお届けします。



梅沢富美男劇団 梅沢富美男 水森かおり特別公演 スペシャルゲスト SHOW-WA&MATSURI

第一部「大笑い!おかしなおかしな 動進帳」 第二部「夢の歌謡オンステージ」 第三部「華の舞踊絵巻」

出演: 梅沢富美男 水森かおり 竜小太郎 門戸竜二 梅沢富美男劇団 SHOW-WA MATSURI

料金: S席(1階席・2階席) 13,500円 A席(3階席) 7,500円

明治座 中央区日本橋浜町2-31-1 03-3666-6666(明治座チケットセンター) ※営業時間 10:00-17:00



サマーフルーツアフタヌーンティー ~6月 メロンとマンゴーのアフタヌーンティー~ スミックスティの紅茶含む17種類のフリードリンク付

爽やかに香るメロンとトロピカルな甘さのマンゴーを組合せ、フルーツで初夏を楽しむアフタヌーンティーをご用意いたしました。キュートなチョコレート細工もお楽しみに。

料金:9,000円 ※客室は2名様分です。 ※料金は消費税・サービス料(15%)が含まれます。

ロイヤルパークホテル1階 ロビーラウンジ フォンテーヌ 中央区日本橋筋町2-1-1 03-5641-3600 (レストラン予約専用ダイヤル 9:00-19:00)



浜町きれいプロジェクト vol.36 月末交流会 同日開催! 月末交流会: 18:00-20:00

日本橋浜町エリアに関する地域住民やオフィスワーカーなど、さまざまな人が集まる交流会を毎月末の水曜日に開催します。同日には、36回目となるまちの清掃活動「浜町きれいプロジェクト」も実施。どちらも参加無料・どなたでも大歓迎です。ぜひお気軽にご参加ください!

場所: Hama House 参加費: 無料(月末交流会は軽食あり/ドリンクキャッシュオン) (一社)日本橋浜町エリアマネジメント 中央区日本橋浜町3-10-6 03-6661-7084

※各種イベントの情報は予告なく変更する場合があります。詳細は各公式サイトをご参照ください。